

# DXが加速するGX

## 「リサイクルビジネスの目線から」

第3回

資源循環システムズ

石田 翔一

本稿では、資源循環領域において官民関係者が構築を自指すべき共同利用型システム(以下、「資源循環プラットフォーム」)が果たすべき役割

性(リスク)をもたらして活用する仕組みを構築するために、大手処理業者が連携して、協調領域として「処理事業者共

性のリスクをもたらして活用する仕組みを構築を包含既存の個社アプリケーションとも密接なデータ連携を図ること業界全体のDX推進を図ることが可能となるの

「処理事業者主導データベース」を合わせた「資源循環プラットフォーム」が、JWNET、さんぽくんと言った「官公プラットフォーム」と連携することにより、資源循環領域における官民連携サービスを実現し、業界全体のDX推進を図ることが可能となるのである。

### 「資源循環プラットフォーム」が果たし得る役割

## 大手処理業者が踏み出す

## 一歩がもたらす革新

「資源循環プラットフォーム」の構築に当たって不可欠となるのが、処理業者同士の連携である。廃棄物処理・リサイクル業界は中小企業が多く、先行投資で

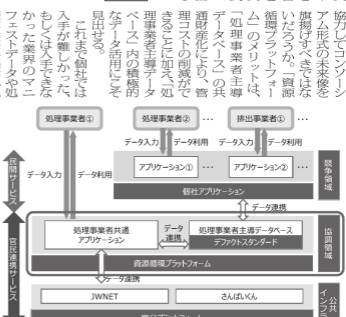
「資源循環プラットフォーム」の構築に当たって不可欠となるのが、処理業者同士の連携である。廃棄物処理・リサイクル業界は中小企業が多く、先行投資で

「資源循環プラットフォーム」の構築に当たって不可欠となるのが、処理業者同士の連携である。廃棄物処理・リサイクル業界は中小企業が多く、先行投資で

「資源循環プラットフォーム」の構築に当たって不可欠となるのが、処理業者同士の連携である。廃棄物処理・リサイクル業界は中小企業が多く、先行投資で

「資源循環プラットフォーム」の構築に当たって不可欠となるのが、処理業者同士の連携である。廃棄物処理・リサイクル業界は中小企業が多く、先行投資で

「資源循環プラットフォーム」の構築に当たって不可欠となるのが、処理業者同士の連携である。廃棄物処理・リサイクル業界は中小企業が多く、先行投資で



「資源循環プラットフォーム」に求められる役割